

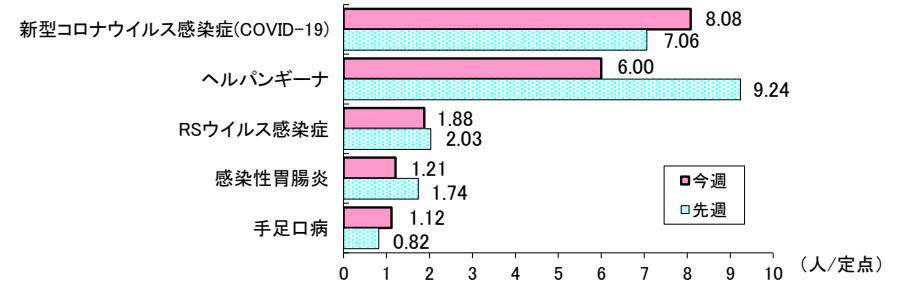


【第31週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、秋田中央で増加、由利本荘で同規模、北秋田、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. ヘルパンギーナは、県全体で35%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、能代で増加、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で7%減少しています。保健所別では、北秋田、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、能代、大仙で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



<定点把握対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減	第30週	第31週	増減			
インフルエンザ	0.06	0.02	↘	0.09	0.09														0.17		↘	0.14		↘						
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	7.06	8.08	↗	9.18	13.36	↗	2.17	3.50	↗	9.67	7.33	↘	6.25	6.75	↗	6.17	8.00	↗	5.17	5.17		8.71	8.29	↘	8.40	7.80	↘	7.00	6.75	↘
RSウイルス感染症	2.03	1.88	↘	4.29	3.86	↘	0.50		↘		0.50	↗	2.33	0.33	↘	0.50	2.25	↗	1.25	3.50	↗	5.50	2.00	↘	0.33	0.67	↗		0.67	↗
咽頭結膜熱	0.09	0.12	↗	0.29	0.14	↘										0.25		↘					0.50	↗					0.33	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.12	0.18	↗	0.43	0.14	↘																	0.50	↗		0.67	↗	0.33	0.33	
感染性胃腸炎	1.74	1.21	↘	5.00	2.71	↘	2.00	1.00	↘		0.50	↗	2.33	3.67	↗	0.25		↘	0.50	0.25	↘				0.33	1.00	↗	1.67	0.67	↘
水痘	0.06	0.03	↘	0.14		↘														0.25	↗						0.33		↘	
手足口病	0.82	1.12	↗								1.50	↗	0.33	0.33		1.00	0.25	↘				5.25	7.25	↗	0.67	1.00	↗		0.33	↗
伝染性紅斑	0.03		↘																0.25	↘										
突発性発しん	0.03	0.09	↗	0.14		↘		0.50	↗																			0.33	↗	
ヘルパンギーナ	9.24	6.00	↘	9.71	4.86	↘	6.75	8.50	↗	4.50	9.50	↗	1.67	3.33	↗	3.00	1.50	↘	25.00	12.75	↘	9.00	5.00	↘	9.67	6.67	↘	9.33	3.33	↘
流行性耳下腺炎	0.03		↘				0.25		↘																					
川崎病	0.03	0.06	↗		0.14	↗													0.25	↘						0.33	↗			
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.14	0.29	↗		0.67	↗				*	*		*	*		1.00		↘										*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) ・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。
 ・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



【第31週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢		
		患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	
インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	1	0.02	1	0.09																	
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	420	8.08	147	13.36	21	3.50	22	7.33	27	6.75	48	8.00	31	5.17	58	8.29	39	7.80	27	6.75	
小児科定点	RSウイルス感染症	64	1.88	27	3.86			1	0.50	1	0.33	9	2.25	14	3.50	8	2.00	2	0.67	2	0.67	
	咽頭結膜熱	4	0.12	1	0.14											2	0.50			1	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.18	1	0.14											2	0.50	2	0.67	1	0.33	
	感染性胃腸炎	41	1.21	19	2.71	4	1.00	1	0.50	11	3.67			1	0.25			3	1.00	2	0.67	
	水痘	1	0.03											1	0.25							
	手足口病	38	1.12					3	1.50	1	0.33	1	0.25			29	7.25	3	1.00	1	0.33	
	伝染性紅斑																					
	突発性発しん	3	0.09			2	0.50														1	0.33
	ヘルパンギーナ	204	6.00	34	4.86	34	8.50	19	9.50	10	3.33	6	1.50	51	12.75	20	5.00	20	6.67	10	3.33	
	流行性耳下腺炎																					
川崎病	2	0.06	1	0.14														1	0.33			
眼科定点	急性出血性結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*	
	流行性角結膜炎	2	0.29	2	0.67			*	*	*	*	*	*							*	*	
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*									
	無菌性髄膜炎											*	*									
	マイコプラズマ肺炎											*	*									
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*									
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*									

* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ／COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-30週		31週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	7821	37	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	1		
三類	細菌性赤痢	23		
	腸管出血性大腸菌感染症	1615	10	1
	腸チフス	24		
	バラチフス	6		
	E型肝炎	353	4	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	32	1	
	エキノкокクス症	9		
	エムボックス	185		
	黄熱			
	オウム病	7		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	10		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	97		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	108	6	
デング熱	51			
東部ウマ脳炎				
鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
ニパウイルス感染症				

類型	疾患名	1週-30週		31週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	189		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	8		
	野兔病			
	ライム病	15		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	1220	11	2	
レプトスピラ症	8			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	281		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	149	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1027	13	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	35		
	急性脳炎	305		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	83		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	482	3	
	後天性免疫不全症候群	555	1	
	ジアルジア症	27	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	314	4	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	10		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1044	11	
	水痘(入院例に限る)	224	3	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	8653	23	
	播種性クリプトコックス症	102	1	
破傷風	58	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	77			
百日咳	534	12	2	
風しん	9			
麻疹	22			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11			

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が横手保健所管内から2人、報告されました。

感染症に関するお知らせ

水害発生時の感染症対策について

大雨などによる土砂災害、家屋の浸水等の後は、感染症のリスクが高まります。がれきや汚泥の除去作業を行う場合には、レジオネラ症や破傷風等の感染症に注意が必要です。

■予防のポイント

- ・作業時は、けが防止のため、長袖、長ズボン等の素肌を露出しない服装で行いましょう。
- ・丈夫な手袋、長靴、安全靴、保護めがね等を身につけ、水や土、汚染された廃材などを直接触ったり、くぎなどを踏み抜いたりしないよう体を保護してください。
- ・土ほこりやエアロゾル(細かい水滴)の吸い込みを防ぐため、マスクを着用しましょう。
- ・休憩時や作業終了後には、石けんと流水でよく手を洗ってください。
- ・発熱、傷の化膿、口が開きにくくなる(破傷風の初期症状)等の症状がみられた場合には、早急に医療機関を受診しましょう。

■水害時の衛生対策について、県ホームページで紹介しています。

美の国あきたネット：水害時の衛生対策
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/27182>

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

事例の種類	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
かぜ様症状	秋田中央	教育・保育施設	8/1	122名のうち18名	43名のうち0名	18名	7/29～8/1	発熱、咳

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。
 ※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は4ページに、ヘルパンギーナの集団発生報告は5ページに掲載しています。
 ※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

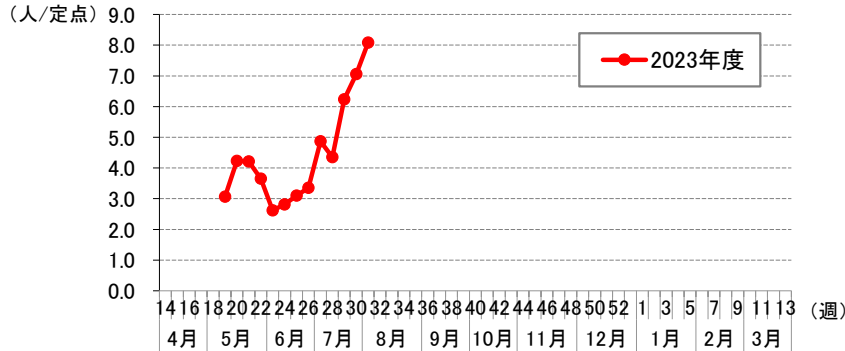


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

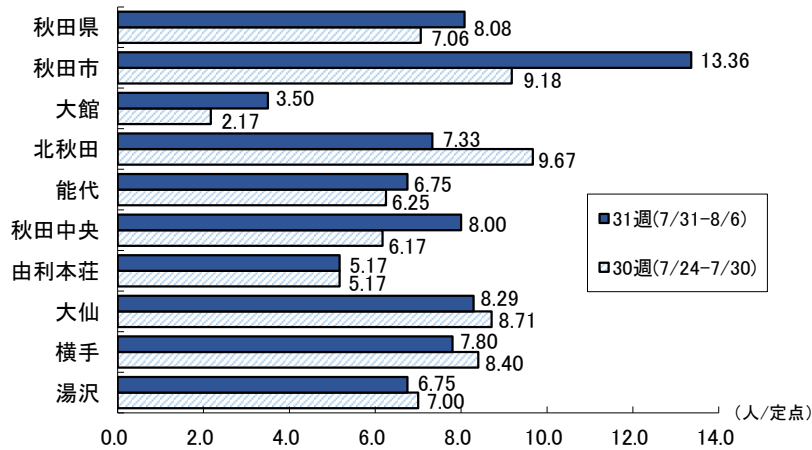


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

- ・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生状況

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告が7件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	医療機関	7/31	39名のうち 7名	40名のうち 5名	12名	7/27～7/31	発熱、咽頭痛、咳
2	大館	高齢者施設	7/31	75名のうち 6名	13名のうち 7名	13名	7/26～7/31	発熱、咽頭痛、咳嗽、全身倦怠感
3	秋田市	高齢者施設	8/2	78名のうち 8名	57名のうち 7名	15名	7/28～8/2	発熱、嘔声
4	能代	高齢者施設	8/2	12名のうち 5名	17名のうち 6名	11名	7/23～8/2	発熱、咽頭痛
5	秋田市	教育・保育施設	8/4	64名のうち 22名	24名のうち 8名	30名	7/28～8/4	発熱、咽頭痛、咳
6	大館	高齢者施設	8/4	100名のうち 9名	83名のうち 3名	12名	7/29～8/3	発熱、咳嗽、鼻汁、咽頭痛
7	由利本荘	高齢者施設	8/4	36名のうち 8名	29名のうち 4名	12名	7/25～8/4	発熱、咳嗽

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】52施設(教育・保育施設4、社会福祉施設6、高齢者施設34、医療機関8)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。

＜夏休みやお盆期間における感染症対策について＞

全国的に新型コロナウイルス感染症の定点あたり患者報告数が増加傾向にあります。また、ヘルパンギーナ等、他の感染症の流行もみられています。次のような対策にご協力ください。

夏休みやお盆に帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は換気や手洗いを行う、通院・高齢者施設訪問時や混雑した電車・バス利用時はマスクを着用するなど、基本的な感染症対策を心がけて体調を整えるようにしましょう。

発熱等の体調不良時に備え、電話相談窓口や外来対応医療機関等の連絡先を確認しておくほか、解熱鎮痛薬等や新型コロナ抗原定性キット、日持ちする食料などを用意しておきましょう。

■ 詳細について、次の秋田県ウェブサイトをご覧ください。

美の国あきたネット:この夏の感染症対策のポイント

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/72664>



(秋田県福祉政策課感染症特別対策室作成)



2023年度 ヘルパンギーナ情報

ヘルパンギーナが警報レベルを超えています

ヘルパンギーナは、エンテロウイルスを原因とするウイルス性咽頭炎で、代表的な夏かぜの1つです。秋田県の今週の定点あたり患者報告数は6.00となり、先週(9.24)より35%減少しました(図1)。新たに北秋田保健所管内(9.50)で警報開始基準の6.00を超えました(図2)。警報開始基準値を超えた保健所管内は、継続基準値(2.00)を下回るまで警報レベルとなりますので、引き続き注意が必要です。

■症状

- ・40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発疹が現れます。
- ・患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎などを併発する場合があります。

■予防のポイント

- ・手洗いが有効です。便には、回復後も2～4週間、ウイルスの排出が続くため、特にトイレ後やおむつ交換後の手洗いはしっかり行いましょう。

- ⚠ のどの強い痛みにより飲食が困難な場合は、脱水症状などを起こさないように注意しましょう。
- ⚠ 意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

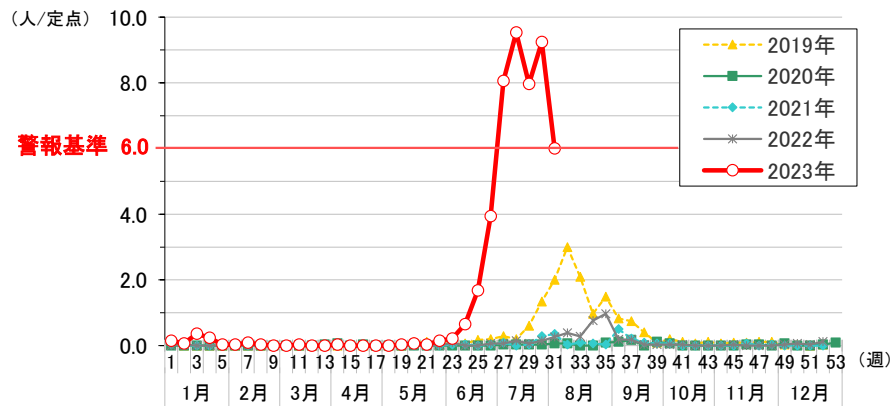


図1 秋田県におけるヘルパンギーナの定点あたり患者報告数

ヘルパンギーナの集団発生状況

ヘルパンギーナの集団発生報告が3件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者 (園児、入所者等)	職員	計		
1	大館	教育・保育施設	8/1	84名のうち16名	30名のうち0名	16名	7/18～7/31	発熱
2	由利本荘	教育・保育施設	8/1	80名のうち17名	28名のうち0名	17名	7/20～8/1	発熱
3	横手	教育・保育施設	8/1	90名のうち14名	30名のうち0名	14名	7/31～8/1	発熱、 口腔内水疱

【2023年度の累計報告数】25施設(教育・保育施設25)

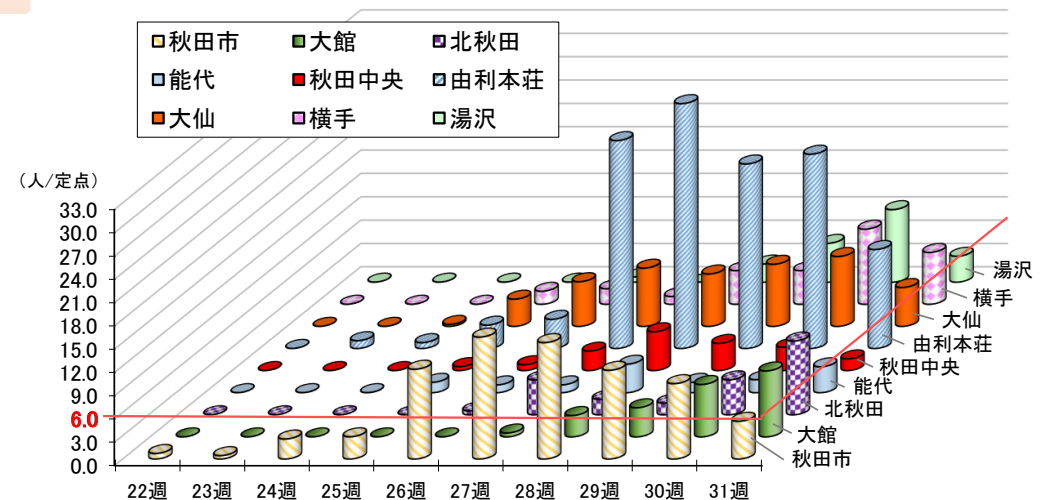


図2 ヘルパンギーナの保健所別定点あたり患者報告数



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	大仙(7.25)
ヘルパンギーナ	-	秋田市(4.86)、大館(8.50)、 北秋田(9.50)、由利本荘(12.75)、 大仙(5.00)、横手(6.67)、 湯沢(3.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		